



NCBN ニュースレター



平成 28 年 6 月 30 日
第 2 巻 第 6 号

NCBN 中央バイオバンク事務局, 〒162-8655, 東京都新宿区戸山 1-21-1, 国立国際医療研究センター内
<http://www.ncbiobank.org/> secretariat@ncbiobank.org Tel: 03-5273-6891

この号の内容

- 1 はじめに
- 2 NCGG より
- 3 NCBN の活動近況

はじめに

ナショナルセンター・バイオバンクネットワーク (NCBN) を構成するバイオバンクのうち、国立長寿医療研究センターのバイオバンクの活動について、ご紹介します。次に NCBN 全体としての活動の近況をご報告いたします。

国立長寿医療研究センター(NCGG) バイオバンクより

山田 兼一 (国立長寿医療研究センターバイオバンク
バイオリソース管理ユニット)



Biobank

NCGG バイオバンクの特徴

国立長寿医療研究センター (NCGG) バイオバンクは、昨年 10 月の組織改変で NCGG メディカルゲノムセンターのバイオバンク部門となりました。今後も呼称は NCGG バイオバンクとして活動します。また本年 4 月からは、徳田治彦臨床検査部長が新バイオバンク長に就任し、病院とバイオバンクがさらに緊密に連携をとる体制となっております。どうぞよろしくお願いいたします。

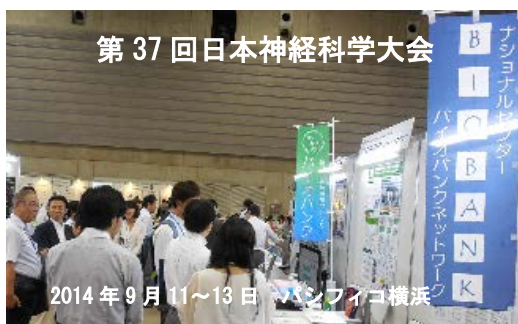
当バンクでは、特に認知症や骨・関節疾患等の老化と深い関係にある疾患のゲノム解析、発症機序解析、創薬・診断のバイオマーカー探索等に資するバイオリソースの収集・保管・分譲を行っております。最近では患者様の試料だけではなく、そのご家族にも試料提供のご協力を得て、家族性の疾患探索にも対応できるように試料収集を推進しております。

一方、バイオバンク棟竣工時から関係省庁をはじめ、公立・私立病院、大学、研究所、国会・県会議員、企業、報道機関等々、国内では青森から沖縄まで、海外からも多くの視察・見学者が訪れており、平成25年度11団体、平成26年度20団体、平成27年度13団体を数えました。視察者の方々からは、バイオバンク活用のメリット、検体管理システム構築、マンパワー、運用に関する様々な問題点等、実務における広範かつ詳細な質問を受けており、自施設でのバイオバンク導入などの参考にされているようです。特にシステム開発に関しては、メーカーとの共同開発により作られた長寿のバイオバンクシステムは先日「Biora」という名称で商標登録がされました。今後は他の施設においてもお使いいただけるよう展開していく予定です。



NCGG バイオバンクの活動報告

NCGG バイオバンクを広く知っていただくために、学会やバイオテクノロジー関連イベントにブースを出展するなど、広報活動にも力を入れています。



出展会場でのバイオバンクへの要望・訪問者の声として、「モデルマウスでの研究を行っているがいずれ人の検体で研究したい。(大学研究所)」、「バイオリソースの仲介業をしている。タグを組めますか？」、

「認知症についての知識を広める活動に携わっている。お手伝いできる事はありますか？（広告代理店）」、「今後予想される NCBN とのネットワーク構築について（大学設置のバイオバンク関係者）」等々、NCBN バイオバンクへの期待の大きさを実感しています。



また、バイオバンクシステムの啓蒙や円滑な試料採取を図るために、センター内広報活動にも力を入れており、センター内公報誌としてバイオバンク Press の発行を始めました。

NCGG バイオバンクの試料利活用研究の成果

NCGG バイオバンクの主要検体はアルツハイマー病（AD）検体です。センター内の研究者のみならず、大学や企業の研究者の方々にも多数提供しています。それらの研究から生まれた成果の一部を図で紹介しました。

検査デバイス開発

豊橋科技大（半導体センサ）

血液一滴で検査を可能とする半導体イメージセンサーの開発

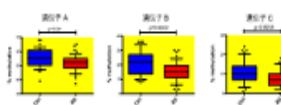


ゲノムシース開発

NCGG研究所（遺伝子解析）

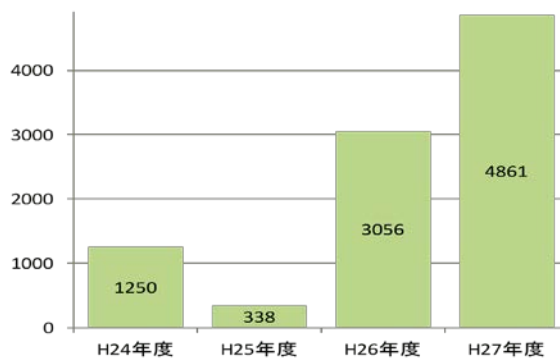
血液DNAエピゲノム情報を用いた早期診断法開発

AD患者では、複数のADリスク遺伝子において低メチル化状態にあることを発見



認知症発症との関連のみならず、新たな遺伝子マーカーとして利用できる可能性も示された

試料・情報等の分譲実績



今後も引き続き更に多くの研究者に活用されるバイオバンクになるように整備を進めて行きたいと考えております。

NCBN の活動近況

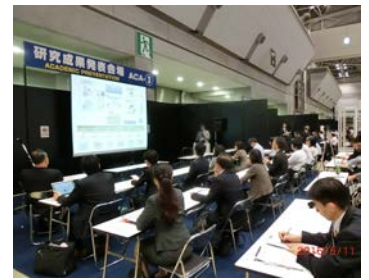
中央バイオバンク事務局

(1) セミナー・情報公開

【ライフサイエンスワールド 2016 -
BIO tech 2016】

2016年5月11日(水)～13日(金)の3日間東京ビッグサイトで開催されましたライフサイエンスワールド 2016 (BIO tech 2016) のアカデミックフォーラムに出展しました。

NCBN の加藤規弘
事務局長講演の様子



ブースの様子

(2) サンプル収集状況 (平成 28 年 5 月末日現在)

6NC バイオバンクの保有試料概数 (延べ検体数、平成 28 年 5 月末日現在)

6NC	登録者数	総検体数	試料の種類ごとの検体数 (総検体数の内訳)				
			DNA	血漿	血清	組織	その他
新規試料群 (包括的同意あり)	46,053	135,101	35,072	35,165	16,037	15,448	33,379
既存試料群 / 包括的同意のない新規試料	31,944	44,996	13,839	4,264	2,010	17,160	7,723

(3) 収集試料研究活用の成果

バイオリソースを活用した研究成果は、

<http://www.ncbiobank.org/research/research.html>

よりご覧いただけます。



ナショナルセンターとは、国立高度専門医療研究センターのことで、日本全国に6カ所ある国立研究開発法人です。

国立がん研究センター
国立循環器病研究センター
国立精神・神経医療研究センター
国立国際医療研究センター
国立成育医療研究センター
国立長寿医療研究センター

ナショナルセンター・バイオバンク
ネットワーク(NCBN)

中央バイオバンク事務局

162-8655

東京都新宿区戸山 1-21-1

国立国際医療研究センター内

電話番号:

03-5273-6891

FAX 番号:

03-5273-6892

電子メール:

secretariat@ncbiobank.org